

3月
定例会

私たちの町の 事業仕分け

平成22年第1回定例会は、3月3日から3月17日までの15日間でわれ、提案された議案30件については、原案のとおり可決・承認されました。また、意見書1件は採択され、陳情2件については、継続審査となりました。

平成22年度
一般会計
当初予算

66億7,300万円

前年度比+4,300万円

全員賛成で可決!

開会を宣言する藤石議長

引き続き 緊縮予算

平成22年度の一般会計当初予算は、歳入歳出総額、66億7300万円です。前年度当初予算と比較すると4300万円の増と若干増えていますが、引き続き緊縮予算となりました。

歳入において、町税の個人住民税は、雇用情勢の悪化に伴い5・6%の減、法人税は、現下の社会・経済情勢を踏まえ、景気低迷の影響から21%の減となっています。固定資産税は、5・1%の増、町税全体としては、2%の減、およそ5000万円の減収となる見込みです。

国家予算の2割を占める地方交付税は、極めて厳しい地方財政の現状を踏まえ、鳩山政権の下で1兆円余りが増額されることから、対前年度6・

健全な 財政運営を

基盤整備事業（普通建設事業）については、歳出全体の5・3%を占めており、対前年度では1・2ポイント減となっています。

また、小中学校パソコン教室のパソコン借上料として1億円の債務負担行為が設定されています。

安全で、安心な住みよいまちづくりを目指し、なお一層の気持ちを引き締めて、健全な財政運営に努めているか厳しくチェックしていきたいと思えます。

◇一般会計
（全員賛成で可決）

町民皆 保険を堅持

国民健康保険堅持

国民健康保険特別会計の当初予算総額は、32億1441万1000円で、前年度比1億2231万円、率にして4・0%の増となりました。

国民健康保険は、少子化や、後期高齢者医療制度への移行の影響と、経済の低迷が長期化し、リストラによる失業者の国保への流入が増加しています。

また、他の保険制度に加入しない低所得者や、75歳以下の前期高齢者を多く抱えるという構造的な問題を抱えています。須恵町国民健康保険の財政安定化を図り、町民皆保険を堅持し、将来にわたり持続可能なものとしていかなければなりません。

◇国民健康保険特別会計
（全員賛成で可決）

平成22年度歳入歳出当初予算

会計区分	H22年度予算額	H21年度予算額	比較(%)	
一般会計	66億7,300万円	66億3,000万円	0.6	
国民健康保険特別会計	32億1,441万円	30億9,210万円	4.0	
老人保健特別会計	655万円	3,366万円	△80.5	
後期高齢者医療特別会計	2億1,172万円	2億3,519万円	△10.0	
公共下水道事業特別会計	9億5,517万円	10億2,868万円	△7.1	
農業集落排水事業特別会計	8,574万円	8,341万円	2.8	
水道事業会計	収益的支出	5億7,608万円	5億8,845万円	△2.1
	資本的支出	3億1,153万円	2億8,715万円	8.5

人件費 削減を 継続

5%の増となっています。歳入全体の財源不足については、基金の取り崩しによって補てんせざるを得ないわけですが、22年度は地方交付税や臨時財政対策債1億9000万円の増などにより、基金を取り崩さずに予算が編成されています。

歳入において、人件費は、職員数の削減を継続しており、一般職員給では職員数3名の減で2600万円余りの減額となっています。

現在の多種・多様な行政事務の多くを担っている電算関係業務については、前年度から業務システム再構築事業を、宇美町・志免町と3町の共同により実施しており、10月から順次稼働していく予定です。



パソコン教室（須恵中学校）

◇老人保健特別会計 （全員賛成で可決）

◇後期高齢者医療特別会計 （全員賛成で可決）

◇公共下水道事業特別会計 （全員賛成で可決）

◇水道事業会計 （全員賛成で可決）